

2 学 期		「文化」としての科学（池内了） 【知識及び技能】 - 本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 - 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 - 主張と論拠、個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 - 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明する。 - 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめる	- 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 - 科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 - 語彙数を増やし、的確に活用し表現する。 - 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…「文化」としての科学（池内了） ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 - 本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 - 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 - 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 - 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	12
	定期考查						【知識及び技能】 - 主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 - 文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 - 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 - 本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。	○	○		1
	フェアな競争（内田樹）	【知識及び技能】 - 本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 - 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 - 主張と論拠、個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 - 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 書き手の意図を適切に解釈し、それに対する自分の考えを言語で表現する。 - 本文で示された哲学者の事績について調べ、内容と関連付けながらまとめる。	- 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 - 現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…フェアな競争（内田樹） ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 - 本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 - 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 - 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 - 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 - 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○	12
	定期考查						【知識及び技能】 - 主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 - 文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 - 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 - 本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。	○	○		1

[illegible]

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：（A組：添田）（B組：添田）（C組：添田）（D組：松田）（E組：松田）（F組：松田）

使用教科書：（第一学習社『高等学校精選言語文化』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】的確な読解に必要な語彙力を身につけ、文章を的確に読むために活用する。

【思考力、判断力、表現力等】読解した内容に基づき、自らの考えを論理的に構築し、的確に言語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをよりの確に伝わるものにするために、構成や展開、表現方法を工夫し続ける。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書					
1 学 期	古典入門 【知識及び技能】 ・古典に親しみ、古典特有のきまりや表現などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする。	・古文の基礎、古典文法（動詞）、人物の行動・心情の理解 ・教科書等 ・一人1台端末の活用				【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				19
	定期考査	・返却・解説								2
	古文（歌物語）、漢文入門 【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする。	・古典文法（形容詞）、漢文（返り点・再読文字） ・教科書等 ・一人1台端末の活用				【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				19
	定期考査	・返却・解説								2
2 学 期	古文（伊勢物語）、近代小説（羅生門） 【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする。	・古典文法（助動詞）、人物の行動・心情の理解 ・教科書等 ・一人1台端末の活用				【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				19
	定期考査	・返却・解説								2
	古文（土佐日記）、漢文（史伝） 【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする。	・古典文法（助動詞）、漢文句法、人物の行動・心情の理解 ・教科書等 ・一人1台端末の活用				【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				19
	定期考査	・返却・解説								2

	古文(竹取物語)、漢文(漢詩)	・古典文法(敬語)、漢詩のきまり、本文の内容理解 ・教科書等 ・一人1台端末の活用				【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解している。						19
3 学 期	【知識及び技能】 ・古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする。		○	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○			
	定期考査	・返却・解説							○	○		2 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』（山川出版社））

使用教材：（『新詳歴史総合』浜島書店）

教科 歴史総合 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会における諸課題に対して向き合う力を養う。

科目 歴史総合 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代社会における諸課題に対して向き合う力を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	第1章 近代化への胎動 1. ヨーロッパの海外進出と市民社会 2. 清の繁栄 3. 東アジア諸国間の貿易 4. 江戸時代の日本の対外政策 5. 江戸時代の社会生活	18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。	18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追及し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト 学期の目標設定 考査の振り返り プリント提出				5
	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 6. イギリス産業革命 7. アメリカ独立革命 8. フランス革命とナポレオン 9. ウィーン体制	産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追及し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。					4
	定期考査								1
	10. 19世紀のイギリスとフランス 11. イタリア・ドイツの統一 12. 東方問題と19世紀のロシア 13. アメリカの発展と分裂 14. 世界市場の形成								5
	第3章 アジアの変容と日本の近代化 15. イスラーム世界の改革と再編 16. 南アジア・東南アジアの改革と再編 17. アヘン戦争の衝撃 18. ゆらぐ幕藩体制 19. 開国 20. 幕末政局と社会変動 21. 新政府の成立と諸改革 22. 富国強兵と文明開化 23. 近代的な国際関係と国境・領土の画定 24. 自由民権運動の高まり 25. 立憲国家の成立	日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追求し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。					11
	定期考査								1
	第4章 帝国主義の時代 26. 帝国主義と世界分割 27. 帝国主義期の欧米諸国 28. 条約改正 29. 日露戦争 30. 日露戦争から韓国併合へ 31. 日本の産業革命と社会問題 32. アジア諸民族の独立運動・立憲運動	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追求し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト 学期の目標設定 考査の振り返り プリント提出				7

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（高等学校新地理総合〔帝国書院〕、新詳高等地図〔帝国書院〕

使用教材：（新詳地理資料COMPLETE 2 0 2 4〔帝国書院〕

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標： 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 … 地球上の位置と時差（緯度経度、時差など）、地図の役割と種類（地形図、地図表現、GISなど）、現代世界の国家と領域（領域、領域に関する諸問題など）、グローバル化する世界（国際組織、貿易、交通、通信観光など）。	地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。	地図や地理情報システム、諸資料から得られた情報を元に考察する力を養えたか。領域、国際関係についての基礎知識から、地図を用いながら自らの考えを考察できる力を養えたか。	地図や地理情報システム、諸資料から得られた情報や、領域、国際関係についての自らの考えを考察し、現在の課題を見つけようとする態度を持てたか。	定期テスト	○	○	○	7
	第2部 国際理解と国際協力 … 世界の地形と人々の生活（大地形、火山、地震、河川地形、海岸地形、特殊地形など）	世界の地形と人々の生活についての基礎知識を身につけたか。地形について、地図を読み解くための知識や技能を身につけたか。	地形の成因、地形が生活の及ぼす影響について、理解、分析、考察する力が養えたか。	身近な地形などについて、地形と生活がどのような関係にあるか、知ろうとする態度を持てたか。	定期テスト	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1
	第2部 国際理解と国際協力 … 世界の気候と人々の生活（大気循環、気候因子、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯など）	世界の気候と人々の生活についての基礎知識を身につけたか。気候分布などの気候に関する地図を読み解くための知識や技能を身につけたか。	各気候の成因、気候が生活に及ぼす影響について、理解、分析、考察する力を養えたか。	気候と植生、農業との関係をふまえ、食料生産など、人々の生活との関係を知ろうとする態度が持てたか。	定期テスト	○	○	○	7
	第3部 自然環境と防災 … 災害と防災（地震、火山、気象など）	地形や気候の学習をふまえ、災害と防災に関する基礎知識を身につけたか。ハザードマップなどを読み解くための知識や技能を身につけたか。	災害の原因と起こりうる災害の内容、生活や命を守るための行動などについて、理解、分析、考察する力を養えたか。	身近で起こりうる災害について、自ら考え、防災への対応をとうろうとする態度が持てたか。	定期テスト	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
2 学 期	第2部 国際理解と国際協力 … オセアニア、東南アジア	オセアニア、東南アジアについて、地形や気候などの自然環境、民族、宗教、農業、工業、地域課題などの基礎知識や、地域地図を読み解く技能を身につけたか。	オセアニア、東南アジアについて、地域が持つ特徴と、現在ある地域の課題との関係を理解、分析、考察する力を養えたか。	自分とオセアニア、東南アジアの間には、どんな関わりがあるのか、それを知り考えようとする態度が持てたか。	定期テスト、夏季課題	○	○	○	7
	第2部 国際理解と国際協力 … 西アジア、南アジア	西アジア、南アジアについて、地形や気候などの自然環境、民族、宗教、農業、工業、地域課題などの基礎知識や、地域地図を読み解く技能を身につけたか。	西アジア、南アジアについて、地域が持つ特徴と、現在ある地域の課題との関係を理解、分析、考察する力を養えたか。	自分と西アジア、南アジアの間には、どんな関わりがあるのか、それを知り考えようとする態度が持てたか。	定期テスト、夏季課題	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学

科目： 数学Ⅰ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 数学Ⅰ 数研出版 ）

使用教材： （ 4STEP、青チャート ）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

教科

数学 の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目

数学Ⅰ の目標：

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	第1章 数と式 第1節 式の計算 1 多項式 2 多項式の加法と減法、乗法 3 因数分解 発 3次式の展開と因数分解 問題 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 発 対称式と基本対称式 発 2重根号 第3節 実数 6 1次不等式 7 1次不等式の利用 研 絶対値と場合分け 問題 演習問題	(1) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。	(1) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知:振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思:小テスト、定期テスト、課題テスト 態①②:4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	18
	第2章 集合と命題 1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明 発 命題「すべて」「ある」 問題 問題演習	(1) 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。	(1) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。		知:振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思:小テスト、定期テスト、課題テスト 態①②:4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 研 グラフの移動 3 2次関数の最大と最小 研 定義域が変化する最大 4 2次関数の決定 問題	(1) 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。	(1) 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。		知:振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思:小テスト、課題テスト、定期テスト 態①②:4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
2 学 期	第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 グラフと2次方程式 発 放物線と直線の共有点 7 グラフと2次不等式 研 絶対値を含む関数のグラフ 4 2次関数の決定 問題 問題演習	(3) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解することができる。 二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。		(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知:振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思:小テスト、課題テスト、定期テスト 態①②:4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	21
	定期考査					○	○		1

	第4章 図形と計量	(1) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。	(1) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	知：振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思：小テスト、課題テスト、定期テスト 態①②：4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○ ○ ○	12
	第1節 三角比					
	1 三角比					
	2 三角比の相互関係					
	3 三角比の拡張					
	問題					
	第2節 三角形への応用					
	4 正弦定理					
	5 余弦定理					
	定期考査				○ ○	1
	第2節 三角形への応用					
	6 正弦定理と余弦定理の応用					
	発 三角形の形状					
	7 三角形の面積					
	発 ヘロンの公式					
	8 空間図形への応用					
	問題					
	演習問題					
	第5章 データの分析	(1) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解することができる。 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができる。	(1) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	知：振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思：小テスト、課題テスト、定期テスト 態①②：4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○ ○ ○	9
	研 変量の交換					
	研 2つの変量の間の関係					
	研 最小2乗法					
	6 重根号					
	6 仮説検定の考え方					
	発 仮説検定と反復試行の確率					
	問題					
	演習問題					
	課題学習				○ ○ ○	14
	定期考査				○ ○	1
						合計
						105

	第2節 空間図形 9 直線と平面 研究 三垂線の定理 10 多面体 問題 演習問題	(1) 空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 正多面体の特徴を理解し、正多面体の体積を求めることができる。	(1) 空間における、直線、平面の位置関係を理解し、垂直、平行になる条件を考察できる。 正多面体の満たす条件を理解し、正多面体から切り取った立体が正多面体であることを理解できる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	○	○	○			
	定期考査				○	○			1	
3学期	第3章 数学と人間の活動 1 約数・倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 補 最大公約数・最小公倍数の性質 4 整数の割り算・商・余り 補 自然数の積と素因数の個数 補 素数の問題 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 研究 いろいろな方程式の整数解 問題 7 記数法 8 座標の考え 研究 2点間の距離 発展 合同式 補 2次の不定方程式 問題 演習問題	(1) 約数、倍数を理解し、倍数の判定法を利用することができる。 素因数分解を理解し、最大公約数、最小公倍数を求める方法を理解している。 整数の割り算の式を理解し、様々な条件の整数の余りを求めることができる。 互除法を理解利用することができる。 1次不定方程式の特珠回を求め、すべての整数解をもとめることができる。 記数法について理解している。 座標平面上でも座標空間上でも座標を点と捉えて位置を座標で表現できる。	(1) 倍数の判定法を考察することができ。 身近な事象について数学的に捉え、最大公約数、最小公倍数との関係について考察することができる。 問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 長方形、正方形を利用し互除法の計算と対応していることを理解し考察することができる。 1次不定方程式のすべての整数解を互除法に関連していることを考察できる。 記数法の特徴を理解できる。 平面上、空間上で点の位置を特定するために、条件から図形の性質に着目して、適切な定理を利用して考察することができる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知識・技能 定期テスト・課題テスト・解き直しレポート(期限厳守) 思考・判断・表現 定期テスト・課題テスト・解き直し(期限厳守) 主体的に学習に取り組む態度 完成ノート・WinSTEP・青花チャート	○	○	○	21	
	定期考査					○	○		1	
										合計
										70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教 科： 理科 科 目： 物理基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 物理基礎 [数研・物基／707] ）

使用教材： （ セミナー物理基礎＋物理 [第一学習社]， レッツライノート物理基礎 [東京書籍]， 改定版フォトサイエンス物理基礎 [数研出版] ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標： 物体の運動と様々なエネルギーに関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	ガイダンス（物理の学習のコツ） 物理量の扱い方Ⅰ（物理量，国際単位系） 物理量の扱い方Ⅱ（有効数字，指数表記） 第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 ベクトル量とスカラー量 合成速度，相対速度 等速直線運動，等加速度直線運動 自由落下運動，鉛直投射運動 （※水平投射，斜方投射は補講で対応） 第2章 運動の法則 力の表しかた 重力，ばねの弾性力（フックの法則） つり合いの2力，作用反作用の2力 ニュートンの運動の3法則	科学的探究に必要な下記概念（観察，実験に関わる内容をふくむ）の知識・技能を測る。 ・物理量と単位系 ・有効数字の考えかた ・ベクトル量 ・合成速度，相対速度 ・等加速度直線運動 ・自由落下運動 ・鉛直投射運動 ・力の表しかた ・重力 ・ばねの弾性力 ・ばね定数が示す意味 ・つり合いの2力 ・作用反作用の2力 ・慣性	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探究しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	運動方程式の活用（問題演習） ・1物体の運動方程式 ・斜面上の物体に関する運動方程式 ・2物体の運動方程式 ・定滑車にかかる2物体の運動方程式 圧力，大気圧，水圧，浮力 仕事，仕事をしない力 力学的エネルギー ・重力による位置エネルギー ・運動エネルギー ・ばねの弾性力による位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存則 （※力学的エネルギーが保存されない事例は補講で対応）	科学的探究に必要な下記概念（観察，実験に関わる内容をふくむ）の知識・技能を測る。 ・1物体の運動方程式 ・斜面上の物体の運動方程式 ・2物体の運動方程式 ・定滑車と物体の運動方程式 ・圧力，大気圧，水圧，浮力 ・仕事 ・力学的エネルギー（重力による位置エネルギー）（運動エネルギー） （ばねの弾性力による位置エネルギー） ・力学的エネルギー保存則	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探究しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・実験または実習，観察「張力，滑車」(予定) ・授業内観察	○	○	○	7
	定期考査					○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	摩擦力和その考えかた								
	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー セ氏温度 物質の三態，原子や分子の熱運動 絶対温度 熱量，熱平衡 比熱，比熱が記す意味 熱容量 熱量の保存（問題演習） （※潜熱・熱膨張は補講で対応） 熱力学第一法則 熱機関，熱サイクル，熱効率	科学的探究に必要な下記概念（観察，実験に関わる内容をふくむ）の知識・技能を測る。 ・セ氏温度と絶対温度 ・熱量 ・熱平衡 ・比熱，比熱が記す意味 ・熱容量 ・熱量の保存 ・熱力学第一法則 ・熱機関と熱サイクル ・熱機関と熱効率	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探究しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察	○	○	○	7
2 学 期	第3編 波 第1章 波と媒質の運動 波と媒質の振動 縦波と横波，波に関する用語	・波が伝わる媒質の振動と特徴 ・縦波，横波 ・波長，振動数，周期 ・波の速さ	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探究しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察 ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 第一学習社「高等学校 生物基礎」 ）

使用教材： （ 第一学習社「セミナー 生物基礎・生物 2025」 ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	指導内容	評価基準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	・地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息し、生物は多様であることを理解する。 ・生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであることを理解する。	・地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解している。 ・共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解している。 ・いろいろな細胞小器官の働きの概要を理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いを理解している。	・細胞や生物体の成り立ちについて、観察に取り組むことができ、観察結果をレポートなどにまとめることができる。 ・生物にみられる特徴について説明できる。 ・すべての生物に共通する特徴がある理由を説明できる。	・細胞の特徴について、主体的に見いだそうとしている。 ・観察結果をまとめ、積極的に説明しようとしている。 ・生物に共通してみられる特徴と、その由来について積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	7
	・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成することを理解する。 ・呼吸は酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられることを理解する。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。	・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解している。 ・光合成と呼吸では、共にATPの合成が行われていることを理解している。 ・酵素の特徴を理解し、代謝は、酵素によって円滑に進行することを理解している。	・代謝とは何か説明できる。 ・光合成や呼吸において、ATPが利用される過程と、担う役割について説明できる。 ・複数の化学反応からなる代謝の過程が、酵素の働きかけで、順を追って円滑に進行するしくみを説明できる。	・資料や実験結果からわかることを積極的に読み取っている。 ・代謝について、資料からわかることを積極的に説明している。 ・カタラーゼを用いた実験について、手順を考え積極的に関わっている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	・遺伝子とDNAと染色体の関係を理解する。 ・DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 ・塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることを理解する。 ・多細胞生物では、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 ・間期の間にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。	遺伝子とDNAと染色体の関係、DNAの構造の特徴、DNAの半保存的複製を理解している。 ・細胞分裂時、DNAは2個の娘細胞に等しく分配されることを理解している。 ・間期の間にDNAが複製され、その後分裂期に移行することを理解している。また、細胞分裂の各過程で起こる現象を理解している。	・DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できる。 ・DNAの構造の特徴を説明できる。 ・DNAの複製のしくみ（半保存的複製）を説明できる。 ・塩基の相補性に着目して、DNAの複製のしくみを説明できる。	・ヌクレオチド鎖の塩基どうしの結合にみられる特徴を、積極的に説明しようとしている。 ・DNAの複製について、積極的に説明しようとしている。 ・タンパク質の根拠を用いた細胞分裂の観察に学習事項と関連付けて積極的に取り組んでいる。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	7
	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解している。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解している。	・タンパク質の様々な働きや、基本的な構造や性質について説明できる。	・タンパク質の様々な働きや、基本的な構造や性質について、積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	6
2 学 期	定期考査					○	○		1
	・DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に転写され、アミノ酸配列に翻訳される流れを理解する。 ・遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 ・遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 ・全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。	・RNAとDNAの違いを理解する。 ・転写と翻訳を理解している。 ・ゲノムの概念を理解している。 ・真核生物のゲノムと原核生物のゲノムの特徴を理解している。 ・同じ個体の細胞は、同じゲノムをもつことを理解している。 ・細胞によって発現する遺伝子と発現しない遺伝子が異なっていることを理解している。	・遺伝子として働くDNAの塩基配列は、どのようにタンパク質の種類を決定するか説明できる。 ・遺伝暗号表をもとに、例示されたmRNAが指定するアミノ酸配列を正確に読み取ることができる。 ・塩基配列をもとにタンパク質が合成される過程を説明できる。 ・同じゲノムをもつ細胞でも形態や働きが異なる理由を説明できる。	・塩基配列とアミノ酸配列の関係を、資料から積極的に読み取ろうとしている。 ・遺伝暗号表をもとに、例示されたmRNAが指定するアミノ酸配列を正確に読み取ろうとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	6
	・恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。	・体液の種類と関係について理解している。 ・赤血球、白血球、血小板、血しょうの特徴や働きを理解している。	・体液の種類と関係について説明できる。 ・赤血球、白血球、血小板、血しょうの特徴や働きを説明できる。	・体液の種類と関係、赤血球、白血球、血小板、血しょうの特徴や働きについて、考察し積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	7
2 学 期	定期考査					○	○		1

	・脳幹の働きと、脳死について理解する。 ・自律神経系と交感神経と副交感神経が拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 ・内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 ・糖尿病の原因と症状について理解する。 ・体温調節のしくみについて理解する。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	・脳幹の働きと脳死について理解している。 ・交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。 ・さまざまな内分泌系のしくみとホルモンの働きを理解している。 ・糖尿病のしくみを理解している。 ・体温が調節されるしくみを理解している。 ・血液凝固のしくみを理解している。	・運動前後の心拍数の変化について考察し、説明できる。 ・交感神経と副交感神経の働きの関係を説明できる。 ・内分泌系と自律神経系の働きの違いを説明できる。 ・血糖濃度上昇時の血糖濃度調節のしくみについて説明できる。 ・血液凝固のしくみについて説明できる。	・運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み、考察に取り組んでいる。 ・インスリンの働きと、血糖濃度が一定の範囲内に保たれるしくみについて、積極的に説明しようとしている。 ・血糖濃度調節のしくみについて、積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○ ○ ○	7	
						○ ○ ○	6	
	定期考査					○ ○	1	
3 学 期	・皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 ・免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。 ・自然免疫のしくみを理解する。 ・獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 ・二次応答や記憶反応が起こるしくみを理解する。 ・アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 ・予防接種や血清療法について理解する。	・皮膚などによる生体防御について理解している。 ・自然免疫・獲得免疫のしくみ、抗原抗体反応のしくみ、二次応答を理解している。 ・アレルギー・自己免疫疾患・エイズのしくみを理解している。 ・予防接種や血清療法は、二次応答を利用した医療であることを理解している。	・生体防御について、物理的・化学的に病原体の侵入を防ぐしくみと、免疫に分けて説明できる。 ・自然免疫のしくみについて説明できる。 ・獲得免疫の一次応答の過程を説明できる。 ・ワクチンの接種による感染症予防のしくみについて説明できる。	・自然免疫、獲得免疫の流れを積極的に他の人に説明しようとしている。 ・二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを積極的に説明しようとしている。 ・ワクチン接種や血清療法について積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○ ○ ○	6	
	・植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解し、植生と環境は密接な関係にあることに気づく。 ・光の強さと光合成速度の関係、陽生植物、陰生植物の特徴をグラフを通じて理解する。 ・乾性遷移の過程について、土壌の形成や光環境の変化などの環境形成作用に注目して理解する。 ・湿性遷移、二次遷移について理解する。 ・バイオームの概念を理解し、陸上にはさまざまなバイオームが成立することを理解する。	・植生は、相観、優占種について理解している。 ・陽生植物や陰生植物、陽葉と陰葉の特徴を理解している。 ・乾性遷移、湿性遷移、二次遷移の過程について理解している。 ・バイオームの概念を理解し、年平均気温と年降水量は、各地域のバイオームを決める重要な要因となっていることを理解している。	・陽葉と陰葉の断面構造の違いと光環境との関係を考察できる。 ・森林が成立する土壌と光環境の特徴について説明できる。 ・遷移が光環境と土壌の状態に左右されることを考察できる。 ・世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。	・植生ごとの環境の比較の観察に積極的に取り組んでいる。 ・陽葉と陰葉の断面の観察に積極的に取り組んでいる。 ・溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査のデータからわかることを読み取り、積極的に説明しようとしている。 ・バイオームの分布を決める要因を積極的に読み取ろうとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○ ○ ○	7	
		定期考査					○ ○	1
								合計
							70	

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ AB組：植木、金島）（CD組：植木、金島）（EF組：佐藤、金島）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館書店）、図説新高等保健（大修館書店）、ステップアップ 高校スポーツ2025（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付け運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1：バスケットボール 単元2：サッカー 共通：体力テストの計測 【知識・技能】 ・基礎技能の習得 ・健康・安全の技能習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・パス、ドリブル、シュート ・基礎ルール、審判 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ボール、ゴール、ピブス、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	○	○	○	27
	スキルステスト			○	○		1
2 学 期	単元3：ソフトボール 単元4：バスケットボール 共通：体育理論 【知識・技能】 ・基礎技能の習得 ・ルールの理解 ・健康・安全への理解習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・パス、ドリブル、シュート ・キャッチボール、バッティング ・基礎ルール、審判 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ボール、グループ、バット、ピブス、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	○	○	○	27
	スキルステスト			○	○		1

3 学 期	単元5：持久走 単元6：バドミントン 共通：体育理論 【知識・技能】 ・基礎技能の習得 ・ルールの理解 ・健康・安全への理解習得 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して運動に親しむ	基礎技能・知識 ・各種ストローク ・基礎ルール、審判 ・ランニングフォーム 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・ラケット、シャトル、タイマー ・教科書、副教材 ・ICT端末 ・振り返りカード	【知識・技能】 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	○	○	○	13
	スキルステスト			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ 増田 ）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館書店）、図説新高等保健（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 単元：現代社会と健康 【知識・技能】 ・基礎知識の習得 ・健康・安全への理解習得 【思考・判断・表現】 ・健康や安全についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して健康問題に取り組む	1 単元：現代社会と健康 ・現代社会における健康 ・感染症の予防、性感染症 ・生活習慣病 ・運動、食事、休養睡眠 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 教具・教材 ・教科書、副教材 ・ICT端末	【知識・技能】 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	1 単元：現代社会と健康 【知識・技能】 ・基礎知識の習得 ・健康・安全への理解習得 【思考・判断・表現】 ・健康や安全についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して健康問題に取り組む	1 単元：現代社会と健康 ・がんの予防 ・喫煙、飲酒、薬物依存 ・精神疾患 ・欲求と適応機制 ・ストレス、心の健康 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 ・個人発表 教具・教材 ・教科書、副教材 ・ICT端末	【知識・技能】 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	2 単元：安全な社会生活 【知識・技能】 ・基礎知識の習得 ・健康・安全への理解習得 【思考・判断・表現】 ・健康や安全についての課題発見 ・解決に向けた思考・判断・表現 【主体的に学習に取り組む態度】 ・継続して健康問題に取り組む	2 単元：安全な社会生活 ・事故の現状と発生要因 ・交通事故 ・応急手当、心肺蘇生法 指導形式 ・一斉指導 ・ペア・グループ学習 ・個人発表 教具・教材 ・教科書、副教材 ・ICT端末	【知識・技能】 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術

科目： 音楽Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ MOUSA2 教育芸術社

）

使用教材：（ ①高校生のための音楽研究ノート ②音楽史を学ぶ（古代ギリシャから現代まで（教育芸術社））

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標： 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	指導内容	表現			鑑賞	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	①聴音（音を聞き取り書く練習） フランスの教材を使用して～ ・La dictee en musique （世界の名曲のダイジェストで聴音する） ・様々な音源 （器楽、声楽、管弦楽など）で聞き取る	○		○	○	・音楽史の知識の幅を広げながら、聴音の技術を身に付ける。 ・様々な演奏形態の音質を聞き分けることができる	・作曲家の名前を伏せて音楽を聴いて、おおよそ書かれた国や時代を推測することができる。	・授業に積極的に参加し取り組む。 ・苦手な事であっても、真剣に取り組む。 ・美しく楽譜が書ける。	・実技試験	○	○	○	4
	②楽典 ・リズム ・音程 ・調判定 ・調号 ・移調 ・音階（教会旋法など）				○	・高校生の音楽研究ノートを活用する。 ・楽典の基本的知識を身につける。 ・左記の内容を理解する。	・リズムを止まらずに正確に読むことができる。 ・音階のルールを理解できる。 ・初めて見る楽譜の調整を音を出さずに判定できる。	・美しく記入できている。 ・楽譜を読むことの大切さに気づき、深く読み取ろうとする。 ・リズムを正しく演奏できる。	・プリント提出 ・実技試験 ・筆記試験	○	○	○	6
	③音楽史 ・シューベルト 連作歌曲集『冬の旅』より ・ドイツリート 野ばら 比較と歌唱 ベルナーとシューベルト ・モーリス・ラヴェル 演奏会用狂詩曲『ツィガース』 （ヴァイオリン曲）	○			○	・1学年からの積み重ね学習を行う。 ・古代～バロック～と時代が進み、リート誕生の流れを掴む。 ・器楽ジャンルの鑑賞に取り組む。	・文学と音楽の融合を学ぶ。 ・時代背景と作曲家についての人物像をイメージする。 ・人類の文化としての音楽を歴史から学ぶ。	・ワークシートに積極的に感想を記入する。 ・想像したことを文章にすることができる。 ・スコアをみながら鑑賞する。	・プリント提出 ・筆記試験	○	○	○	8
	④合唱コンクールに向けて ・発声 ・ハーモニー ・表現 ・ピアノとのバランス ・歌唱 ・合唱 ・アレレヤ（ラテン語での発声）	○	○			・楽譜を正しく読み、美しい発音で歌うことができる。 ・他パートの音をよく聞き、美しいハーモニーを求めて歌うことができる。	・他者と一つの音楽を作り上げるための工夫をすることができる。 ・他者と声質を合わせようと努める。 ・総合的なバランス感覚を身につけようとする。	・合唱のクオリティを高めようと努力する姿勢がみられる。 ・客観的に音楽表現を高めようと追及できる。 ・発声指導を受けた内容積極的に取り入れようとしている。	・実技試験 ・合唱コンクール参照	○	○	○	6
2 学 期	⑤ピアノ実技 ・バイエル ・ハノン（音階） ・アンサンブル曲		○		○	・自分のパートの音を弾くことができる。 ・他のパートの音を聞きながら弾くことができる。 ・正しい姿勢を意識して演奏することができる。	・自分の骨格に対して適切な演奏ポジションを見出そうとし、無駄な力を入れずに適切な力加減で演奏しようと工夫している。	・拍を合わせながら、みんなで一つの音楽を作ろうとしている。 ・自分のパートだけにとらわれず、他のパートの動きにも気を配りながら演奏しようとしている。	・実技試験	○	○	○	10
	⑥イタリア古典歌曲を歌おう ・イタリア歌曲の歌唱 ・歌曲の世界を掘り下げよう ・コンコーネで和声感覚を養う。	○		○		・イタリア歌曲を適切な音量で美しく歌唱する。 ・楽曲分析を行う。	・イタリア歌曲の楽曲を題材に込められた意味を深く解釈し劇を創作する。初めて楽曲と出会う人にわかりやすく伝える内容を考える。互いの演奏を評価し合う。	・他のグループを評価することで、他者の感性に触れる。	・発表会	○	○	○	6
	⑦音楽史 ・オペラの歴史（アリアを味わおう） モーツァルト、ヴェルディ、ヴァーグナーのオペラより ・ベートーヴェンについて 生涯と作品をたどる ・リグティ コンテンツボラリーミュージック				○	・古典、ロマン派、現代の各時代の名曲とともに作曲家と作品を学ぶ。	・音楽の発展と時代背景の関連を意識的に学習する。 ・各時代の生み出した人間の感性を音楽から学ぶ。	・楽器の歴史を学ぶと、金属の歴史、民俗の歴史、鉄の歴史に関連する。そこから誕生した楽器に対する視点を持つ。 ・音楽史上重要な大作曲家を軸に音楽史を深く学ぶ。	・筆記試験	○	○	○	10

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科：芸術 科目：美術Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第 1 学年 A組～ D組

教科担当者：（ A組： ）（ B組： ）（ C組： ）（ D組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現の工夫をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情懷を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映					
1 学 期	【知識及び技能】アートカードについて理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】アートカード、創作4コマを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	アートカードゲーム	○			アートカード、創作4コマの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。 アートカード、創作4コマを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高めることができたか。アートカード、創作4コマを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身に付いているか。	○	○	○	2
	A 単元 【知識及び技能】CDジャケットのデザインの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】CDジャケットのデザインを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	CDジャケットのデザイン		○		CDジャケットのデザインの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。 CDジャケットのデザインを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高めることができたか。CDジャケットのデザインを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身に付いているか。	○	○	○	10
	【知識及び技能】CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】CDジャケットのデザイン、誌のコラージュを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	CDジャケットのデザイン 雑誌のコラージュ	○	○		CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高めることができたか。CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身に付いているか。	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】雑誌のコラージュの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】雑誌のコラージュを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	雑誌のコラージュ	○			雑誌のコラージュの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。雑誌のコラージュを通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高めることができたか。雑誌のコラージュを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身に付いているか。	○	○	○	6
	【知識及び技能】・アートカードゲーム・らでん工芸の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】パステルブッシュステン ド、らでん工芸を通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	・アートカードゲーム ・らでん工芸	○			・アートカードゲーム・らでん工芸の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。 ・アートカードゲーム・らでん工芸を通して創造的な表現をすることができ、工夫したり、作品の完成度を高める。	○	○	○	12

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（A組：酒井佑 ）（B 組：酒井佑 ）（C 組：酒井佑 ）（D 組：酒井佑）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 東京書籍『書道Ⅰ』 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 書の表現の形式や方法、多様性について、創造的活動う。から理解を深め、必要な技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 書の美しさや良さを追究し、意図に基づいた表現を工夫したり、伝統文化の価値等を考えたりする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯に亘り、書を愛好する心情を育み、感受性を高め、豊かな情操を養う。

科目 書道Ⅰ の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
書の表現の形式や表現を幅広く理解し、書写能力の向上からの上に、書の伝統や文化における基礎的な技術を習得する。	書の美しさや良さを追究し、意図に基づいた表現を創意工夫したり、伝統文化の価値等を考え、書美を味わい捉えたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	
生涯に亘り、書を愛好する心情を育み、感性を高めることにより、心豊かな社会や生活を創造していくことができる態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	A「書写から書道へ」 「古典に基づく学習」 【知識及び技能】 中学書写までの趣旨を知り、必要な技能を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 意図に基づいた表現方法を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 書を愛好する心情や感性を高める。 B「漢字の書の学習」－楷書 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、必要な技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書古典の書美を味わい捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 字形を見て書を愛好する態度を養う。	・書写から書道へ ・書道選択の動機・契機 ・書体の変遷 ・書の体験「書体と字体」 ・古典に基づく学習 ・楷書古典の比較と書風 ・臨書『九成宮醴泉銘』 ・臨書『孔子廟堂碑』 ・臨書『雁塔聖教序』 ・臨書『自書告身』			○	○	【知識及び技能】 書体の名称を理解し、臨書について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 書風を適当な言葉に表現し比較が行える。 【学びに向かう力、人間性等】 特徴を捉え、自主的に文字を再現しようとする努力をしている。			○	○	4
					○	○	【知識及び技能】 古典の名称、時代、作者、書法、特徴を知り、何を指す用語か理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 用筆や字形を捉え、考えて臨書が行える【学びに向かう力、人間性等】 楷書の良さや美しさから豊かな人間性を醸成することができる。			○	○	8
	C「漢字の書の学習」－行書 【知識及び技能】 わが国および中国における書道史の文化を知り、必要な技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 書の美しさや良さに基づく表現を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】 書を愛好する心情と書きぶりを体感する。	・臨書『蘭亭序』 ・臨書『風信帖』			○	○	【知識及び技能】 作者や時代背景・作品の名称について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆路や筆順を追いながら臨書を以て、文字を再現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 書く動きやリズムを体得し、主体的に書き方を自分の中に取り入れようとしている。			○	○	6
	D「漢字の書の学習」－篆書・隸書 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、基本的な技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本用筆を生かして、古典の特徴を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 二体の学習から書体の良さを学び、感性や態度を養う。	・臨書『泰山刻石』 ・臨書『曹全碑』			○	○	【知識及び技能】 作者や時代背景・作品の名称について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 字形の特性や基本用筆を表現すべく、筆で的確に再現しようとする努力をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 書く動きやリズムを体得し、その書体に精通できているか自己評価している。			○	○	6
2 学 期	A「漢字の書の学習」－創作 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、必要な技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書古典の書美を味わい捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 字形を見て書を愛好する態度を養う。	・漢字の書の創作			○	○	【知識及び技能】 既習古典の名称や書法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 書法や特徴を選択し、自己表現を模索し、自身の表現の確立に向けて制作している。 【学びに向かう力、人間性等】 自らが古典の特性を利用し、取組を振り返りながら作品を表現しようとしている。			○	○	4
	B「仮名の書の学習」 【知識及び技能】 書の伝統と文化を知り、必要な技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書古典の書美を味わい捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 字形を見て書を愛好する態度を養う。	・成立と歴史 ・用具用材（仮名の書の準備） ・基本用筆 ・単体／いろは歌 ・連綿 ・変体仮名 ・墨法および古筆の臨書 ・全体の構成				○	○	【知識及び技能】 文字としての仮名の種類名に端を発し、仮名の読みや字形を習得し理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 字形や大きさなど細部まで洞察し、小筆を用いて表現や臨書に努めている。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫をし、自らの意を仮名の書に反映させようとしている。			○	○

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅠ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ FLEX English CommunicationⅠ（増進堂））

使用教材：（ 達読英熟語(Z会)、Focus on Listening(エミル））

教科 外国語 の目標： 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどの的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標： 英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定された目標の実現を目指した指導を通して、上記の【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、【学びに向かう力、人間性等】に示す資質・能力を育成する。

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと
ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

	指導内容	領域					評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 や	話 発	書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	Lesson 1 How Can We Become Stronger?		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（助動詞、不定詞の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、松岡さんの考えについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 松岡さんの発言している内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 「自分を助ます言葉」について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 松岡さんの発言している内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 「自分を助ます言葉」について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14
	Lesson 2 The Jar of Life		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（動名詞、関係副詞の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、ある実験について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. ある実験とそれに応用した内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（ある実験とその応用）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. ある実験とそれに応用した内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（ある実験とその応用）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1
	Lesson 3 It's Always Sunny in Space!		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（名詞＋分詞、現在完了形の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、エネルギー問題とJAXAの計画について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. エネルギー問題とJAXAの計画について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（エネルギー問題とJAXAの計画）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. エネルギー問題とJAXAの計画について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（エネルギー問題とJAXAの計画）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14
	Lesson 4 Malala:Fightingfor Women's Rights		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（動詞＋名詞、過去完了形の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、マララの生い立ちやスピーチについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. マララの生い立ちとスピーチ内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（マララの生い立ちとスピーチ内容）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. マララの生い立ちとスピーチ内容について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（マララの生い立ちとスピーチ内容）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1
	Lesson 5 Mount Fuji		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（使役動詞、節を導く形式主語の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、富士山が日本文化に与えた影響について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 富士山が日本文化に与えた影響について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（富士山が日本文化に与えた影響）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 富士山が日本文化に与えた影響について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（富士山が日本文化に与えた影響）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14

2 学 期	Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs					a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（関係代名詞 what、強調構文の用法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（SDGs）を組み込んだトーマスのエピソードについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしている。	a. SDGsを組み込んだトーマスのエピソードについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（SDGs）を組み込んだトーマスのエピソードについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしようとしている。		○ ○ ○ ○	13	
	定期考査									○ ○	1	
	Lesson 7 Virtual Water					a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（関係代名詞の非制限用法、関係副詞）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、仮想水について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 仮想水について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（仮想水）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしている。	a. 仮想水について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（仮想水）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○ ○ ○ ○	14	
	Lesson8 Wearable Robots May Change Our Life					a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（仮定法）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、HALについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. HALについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（HAL）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしている。	a. HALについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（HAL）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしようとしている。		○ ○ ○ ○	13	
	定期考査									○ ○	1	
3 学 期	Lesson9 Biomimicry					a. 新出語やKey Phrasesの言語材料、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrasesの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、バイオミミクリーについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. バイオミミクリーについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（バイオミミクリー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしている。	a. バイオミミクリーについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（バイオミミクリー）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○ ○ ○ ○	14	
	Lesson10 Donald Keene and His Love of Japan					a. 新出語やKey Phrasesの言語材料、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrasesの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、キーンの数値とその動機について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. キーンの数値とその動機について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（キーンの数値とその動機）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしている。	a. キーンの数値とその動機について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（キーンの数値とその動機）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いていたりしようとしている。		○ ○ ○ ○	13	
	定期考査										○ ○	1
												合計 140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression I Advanced（啓林館） ）

使用教材：（ Vision Quest 総合英語 Ultimate 2nd Edition（啓林館）、Vision Quest New English Grammar 47（啓林館）

教科	外国語 の目標：	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどの的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
科目	論理・表現Ⅰ の目標：	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域別に設定された目標の実現を目指した指導を通して、上記の【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、【学びに向かう力、人間性等】に示す資質・能力を育成する。

話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと
ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

	指導内容	領域			評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 や 発 書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	Lesson 1 I want to introduce my new friend.			○ ○ ○	様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応答する表現を理解することができる。情報や考え、気持ちなどを理由とともに書くことができる。	日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。情報や考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを話して伝えようとしている。情報や考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	7
	Lesson 2 How about joining our group?			○ ○	文型と動詞の意味や用法、賛成・反対する表現を理解することができる。情報や考え、気持ちなどを理由とともに書くことができる。	学校の授業や行事などについて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	学校の授業や行事などについて、情報や考え、気持ちなどを話そうとしている。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。		○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.			○ ○ ○	現在や過去を表す時制の意味や用法、激励や励ます表現を理解することができる。情報や考え、気持ちなどを理由とともに書くことができる。	自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。情報や考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなどを話そうとしている。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	6
	Lesson 4 Have you ever tried it before?			○ ○	現在完了形や現在完了進行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解することができる。情報や考え、気持ちなどを理由とともに書くことができる。	英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考えなどを話すことができる。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	英語学習の期間や海外の渡航経験などについて、情報や考えを話そうとしている。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。		○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	Lesson 5 What do you want to do after school?			○ ○	助動詞の意味や用法を理解することができる。基本的な受動態や様々な受動態の用法を理解することができる。情報や考え、気持ちなどを理由とともに書くことができる。	自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話すことができる。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話そうとしている。情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	6
	Lesson 6 Did you hear about the new shop?			○ ○					○	○	○	7

[illegible]

高等学校 令和 7 年度（1 学年用）教科 情報 科目 情報 I

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校情報Ⅰ Python

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。	効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 情報社会 情報と情報社会 問題解決の考え方 個人情報とその扱い 知的財産権	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・情報の特徴を理解する。 ・情報社会がもたらした生活やビジネスの変化について学ぶ。 ・インターネットの特質と個人の責任、心構えなどについて学ぶ。 ・コンピュータを利用した犯罪と、被害者にならないための心構えを学ぶ。 ・コンピュータの健康への影響や、情報格差への対応について学ぶ。	課題提出 主体的に取り組む態度	○	○	○	7
	第2章 情報デザイン コミュニケーションとメディア 情報デザインと表現の工夫 Webページと情報デザイン	・個人情報の流出の実態とその防止方法について学ぶ。 ・個人情報とその保護などについて調べる。 ・メディアの特徴と、メディアリテラシーについて学ぶ。	課題提出 実技テスト 相互評価 主体的に取り組む態度	○	○	○	8
		・アナログとデジタルの意味、情報量の単位を学ぶ。					
	第3章 デジタル デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現	・AD、DAコンバータについて学ぶ。 ・ベイント系ソフト、ドロー系ソフトについて学ぶ。 ・画像処理ソフトを用いて、様々な画像処理を行う。 ・2進数、10進数、16進数について学ぶ。 ・文字コードについて学ぶ。 ・標本化、量子化、符号化について学ぶ。 ・標本化周波数と量子化の段階数について学ぶ。 ・加法混色と減法混色について実習を通して学ぶ。 ・色のデジタル表現について学ぶ。 ・画像のデジタル化の仕組みについて学ぶ。 ・階調や解像度について学ぶ。 ・動画再生ソフトを用いて再生速度を変える実習を行う。	課題提出 主体的に取り組む態度	○	○	○	9
	第4章 ネットワーク	・オートシェイプを用いて立体図形を描画する実習を行う。 ・圧縮の必要性和形式について学ぶ。 ・圧縮の仕組みについて学ぶ。 ・音声や画像のデータ量、プリンタの解像度の計算問題を解く。 ・通信速度や補数による計算問題を解く。	課題提出 主体的に取り組む態度	○	○	○	9
	定期考査		定期考査	○	○		1
2 学期	第5章 問題解決 データの処理	・表計算ソフトのデータ形式について学ぶ。 ・分析しやすいデータ形式について学ぶ。 ・表計算ソフトの基本的な関数について理解する。 ・表計算ソフトの関数を利用した統計処理実習を行う。 ・表計算ソフトの表を使った情報の視覚化について学ぶ。 ・表計算ソフトを使ったグラフ化などの実習を行う。 ・グラフから情報を読み取る際のポイントについて学ぶ。 ・グラフによる印象の違いや誤解のない表現について学ぶ。 ・地球の温暖化についての問題の解決を図る。 ・問題の明確化、情報の収集、整理・分析、解決策の検討を行う。	課題提出 実技テスト 主体的に取り組む態度	○		○	10

3 学 期	第5章 問題解決 シミュレーション	・統計とデータの分布について学ぶ ・共分散、標準偏差について学ぶ。 ・時系列分析、回帰分析について学ぶ ・モデル化とシミュレーションについて学ぶ ・確定的モデルについて学ぶ。 ・確率的モデルについて学ぶ。 ・ローンの返済額シミュレーションする方法について学ぶ ・感染症拡大シミュレーションの方法について学ぶ。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○		○	10
	定期考査		定期考査	○	○		1
	第6章 プログラミング	・アルゴリズムを理解させる。 ・フローチャートの書き方、用途を理解させる。 ・変数を理解させる。 ・順次構造を理解させる。 ・選択構造を理解させる。 ・反復構造を理解させる。 ・配列を理解させる。 ・線形探索を理解させる。 ・二分探索を理解させる。 ・プログラムを作成させる。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○	○		8
			課題提出 主体的に取り組む態度		○	○	6
	定期考査		定期考査	○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例
高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組
教科担当者：（ A組： 関 ）（ B組： 杉村 ）（ C組： 植木 ）（ D組： 大久保 ）（ E組： 松田 ）（ F組： 高野 ）
使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：
【知識及び技能】これまで学習した各教科・科目の知識・技能を基礎に、持続可能な社会の形成に求められる現状と解決すべき課題を理解すること。
【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会の形成を担うリーダーに求められる資質・能力・態度とは何かを探究し、自己の在り方・生き方や進路についての考察を深めることができる。
【学びに向かう力、人間性等】主体的な探究に粘り強く取り組み、他者と協働してより良い解決策を生み出し、実践することができる。

科目 人間と社会	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・通常の文章のほか、図やグラフ、表等テキストから情報を取り出し、理解・解釈する力を身につける	・演繹的思考・帰納的思考・類推等の方法を使い、筋道を立てて考える力を身につける ・自らの考えを記述・論述するとともに、わかりやすく他者に伝える方法を身につける	・自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに自己評価に基づき改善する ・問題解決にあたって、粘り強く考え、よりよい解決策を導く

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「人間と社会」学習ガイダンス 項目① 「地域社会を築く」	○テキスト等を活用して学習の目標、年間の学習内容、2・3学年での「総合的な探究の時間」へのつながりを理解させる。 ○他者と対話し協働しながら課題解決を行うためのペアワーク、グループワーク等の手法を身に付けさせる。【演習】 ○テキストを活用し道徳的価値と基礎的・汎用的能力を理解させる。 ●小金井市の災害対策講話【体験2h】 ●都水道局、消防署、自治体と連携した防災時の応急給水訓練を体験させる。 【体験3h】 ○振り返りとまとめ 2つの体験を振り返り、自己の課題意識を明確にするためのまとめを行わせる。 【演習】 ○グループワーク 防災時の自助・共助についての考察を深め、解決すべき課題を明確にさせる。 【演習】	<観点> ①知識・技能 ②思考・判断 ③主体的に取り組む態度 ○レポート、発表や討論、学習に対する取り組みの様子から総合的に評価する。 ○生徒の自己評価を活用する。 ○活動の状況を教師が観察して評価する。 ○レポートや模擬面接などから、自己理解を深め、適切に自己表現できたかを評価する。	○	○	○	13
2 学 期	項目② 「主権者としての自覚」 【課題の設定】 【まとめ・表現】 項目③ 「支え合う社会」 【課題の設定】 【情報の収集】 【整理・分析】	○テキストを活用し道徳的価値と基礎的・汎用的能力を理解させる。 ●小金井市選挙管理委員会と連携した模擬選挙を体験させる。【体験3h】 ●第二東京弁護士会と連携した主権者について考えるグループワーク【体験2h】 ●武蔵野税務署と連携した租税教室（講話とグループディスカッション）【体験2h】 ○振り返りとまとめ 2つの体験を振り返り、自己の課題意識を明確にするためのまとめを行わせる。【演習】 ○グループ単位で発表させる。 【演習】 ○テキストを活用し道徳的価値と基礎的・汎用的能力を理解させる。 ●東京視覚障害者生活センターと連携した点字体験、視覚障害体験を通して障害者理解を深めさせる。【体験2h】 ○振り返りとまとめ 2つの体験を振り返り、自己の課題意識を明確にするためのまとめを行わせる。【演習】 ○3つの学習項目の演習と体験活動を通して、小金井北高校や小金井市が「解決すべき課題」を考察し、収集した情報を活用して、具体的な取組を「提言」としてまとめさせる。		○	○	○	13

3 学 期	【まとめ・表現】 2・3学年での「総合的探究の時間」に向けて	○クラスで全員が「提言」をプレゼンテーションすることを通して、相互の問題意識を共有させる。 ○修学旅行先の歴史・文化・自然への理解を深めさせる。 ○自らの進路や夢の実現に向けて探究したい「課題」を選択させる。	○	○	○	9
						合計 35